



特許で成長 三和テクノ表彰

日本弁理士会 積極取得で市場開拓

自動車・OA機器部品メカニカルを組み、事業成長に結びつける取り組みが評価され、日本弁理士会の第10回

的財産經營を後押しするため、日本弁理士会が2014年に始めた。今回は、大

いう。そこで96年に社長就任後、特許の取得に注力。これまでに取得した数は、

の表彰に同社を推薦した弁理士の西野卓嗣さん(76)は、「特許が成長エンジンとな

企業にも参考にしてもらいたい

23年9月期の売上高は約31億円。従業員数242人。

を励みに、新規開拓に努めたい」と意気込む。

選ばれた。同社の福井和郎
社長(76)は「今後も経営戦
略として、しつかり取り組
んでいきたい」と話す。

3部門から奨励賞をそれぞれ
れ1社選んだ。

かるが、一特許を取り、独占的な地位を築くことで成長してきた。客観的な評価を得て製品への信頼度を高めることもできる」と福井社長。現在、シール材が工作機械用にも応用できるとして営業活動を展開しており、同社の企業内弁理士、河部勇吉さん(52)は「受賞

期的なシール材を01年に開発した。その際、特許を取得したことから独占的な市場開拓に成功。売上高は、当時の2・5倍に伸びた。

社長。現在、シール材が工
作機械用にも応用できると
して営業活動を展開しており、同社の企業内弁理士、

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。